

DAIYU

~ちょっと未来を先取りした快適な家づくり~

大雄がこだわる快適な「住まい」

家族みんなが
笑顔でいられる家





キーワードは

健康

経済的

高耐久

安心

- 健康に住み続けられる家であること。
- 経済的なゆとりが持てる家であること。
- 万が一の時にも家族を守ってくれる家であること。
- 長持ちする家であること。



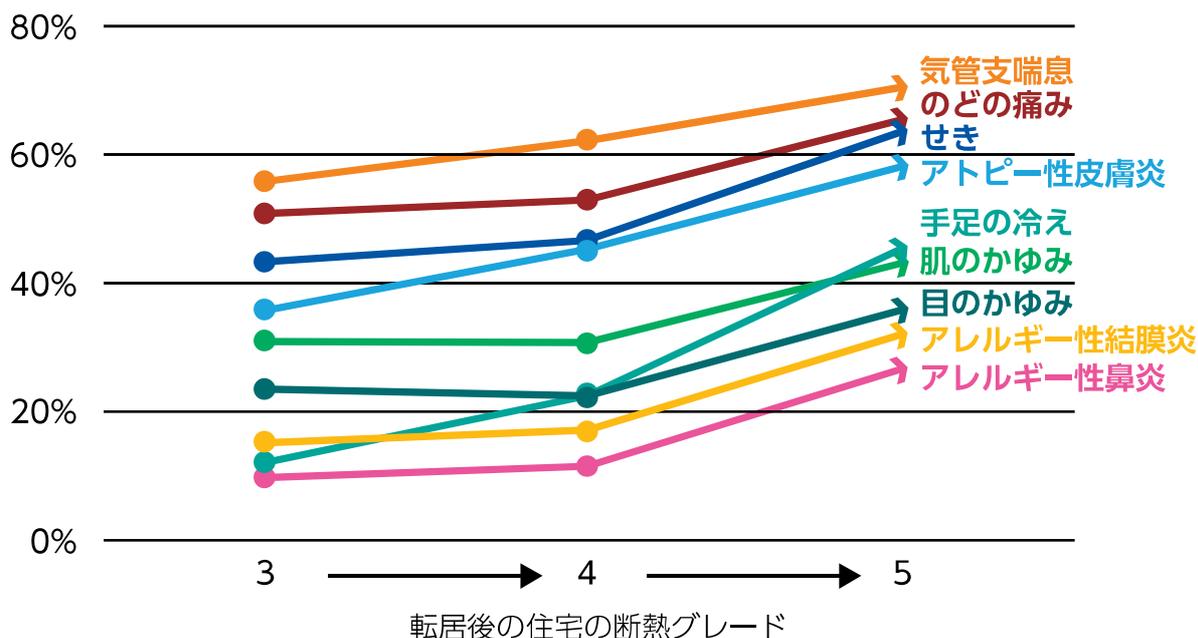
健康なからだ作りには家の断熱性能が密接に関係していました。

■暖房したリビングから出て寒い脱衣所で服を脱ぎお風呂に入り熱い湯船につかる。この一連の行動で大きな血圧の変動があり体へのストレスとなります。



■呼吸器系や皮膚系の疾患を持った方が、断熱性能の高い家に引っ越した結果、症状が改善されたという調査結果があります。

$$\text{改善率} = \frac{\text{新しい住まいで出なくなった人}}{\text{前の住まいで出ていた人}}$$



※グレード3:断熱性〈省エネ等級3相当〉 グレード4:断熱性〈省エネ等級4相当〉 グレード5:断熱性〈省エネ等級4以上の高断熱住宅〉

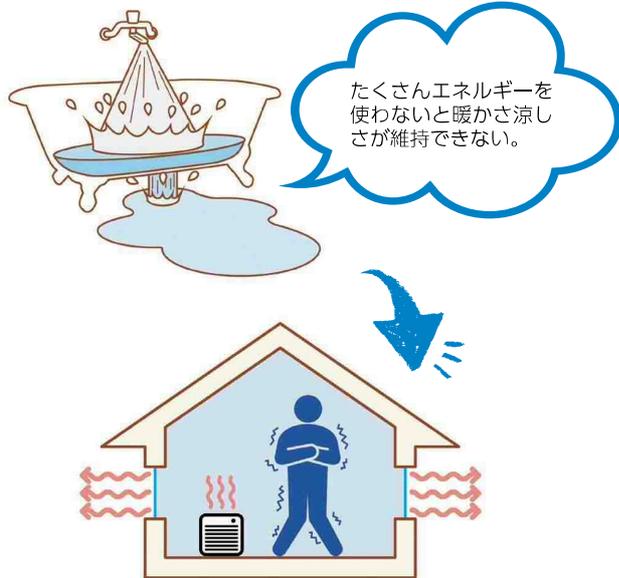
出典:近畿大学 建築学部 岩前研究室

経済的

住まいの断熱性能を高める

■断熱性能の低い家では、快適性を保つために多くのエネルギーが必要になり、その分光熱費が高くなります。

建物の断熱性能を重視していない住宅



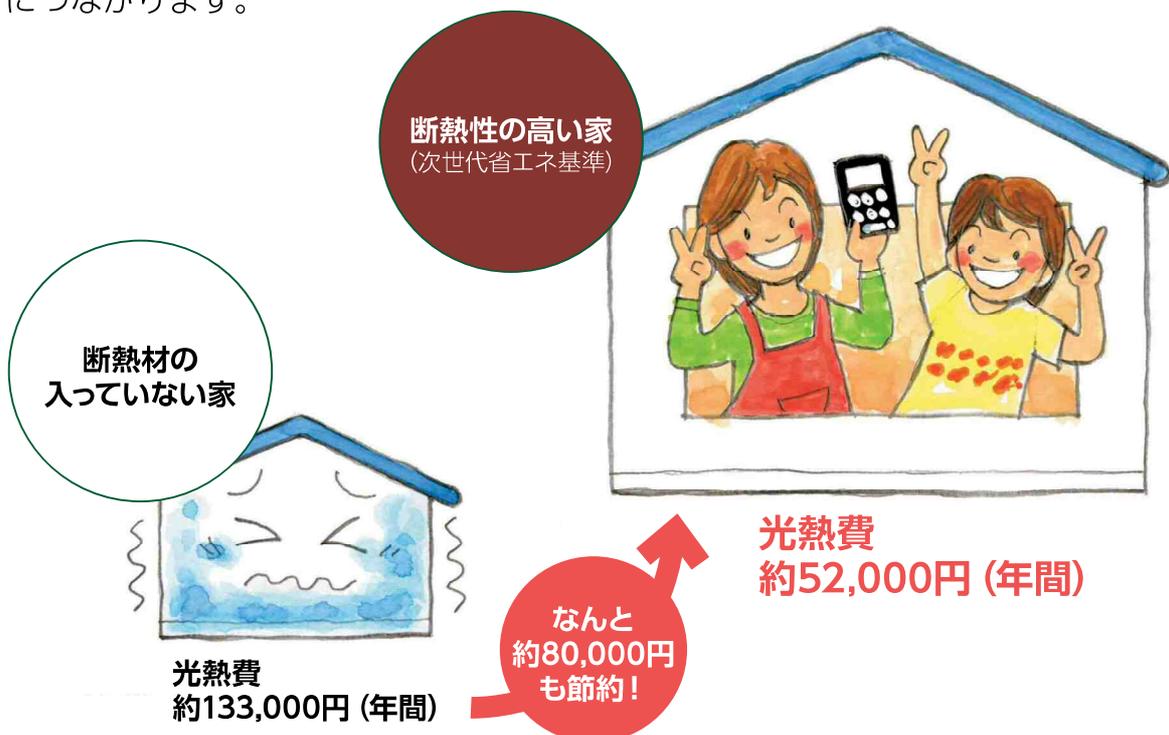
冬は暖房を使っても、なかなか部屋が暖まらなくて寒い。

建物の断熱性能を重視した住宅



冬は暖房が良く効いて、部屋全体が暖かくなって快適。

■家の断熱性を高めることは、冷暖房の効率を高めて、日々の光熱費を抑えることにつながります。



※東京・大阪等、一定の条件のもと国土交通省により試算したものであり、あくまでも一例です。

出典：国土交通省 社会資本整備審議会建築分科会 住宅・建築省エネルギー部会資料

日本各地で発生している大地震。いざという時にご家族の命を守るのは地震に強い住まいです。



消防署や警察など防災の地点となる建物がこの基準に相当します。



建物の耐震性能は等級 1 から 3 までの基準が定められており、建築基準法レベルの強度が等級 1、その 1.5 倍の強度が最高等級 3 となります。

確かな耐震強度を確保した家を建てることは、安心して暮らせる住まいを実現するための大切な条件であると考えます。



高耐久

目に見えないリスクを減らす

見落とされがちな壁内結露と太陽光設置による雨漏りリスク。コストダウン重視の家づくりは家の寿命を縮めることにつながります。



厳選した素材と工法で、将来にわたり見えないリスクから大切な住まいをお守りします。



大雄がご提案する

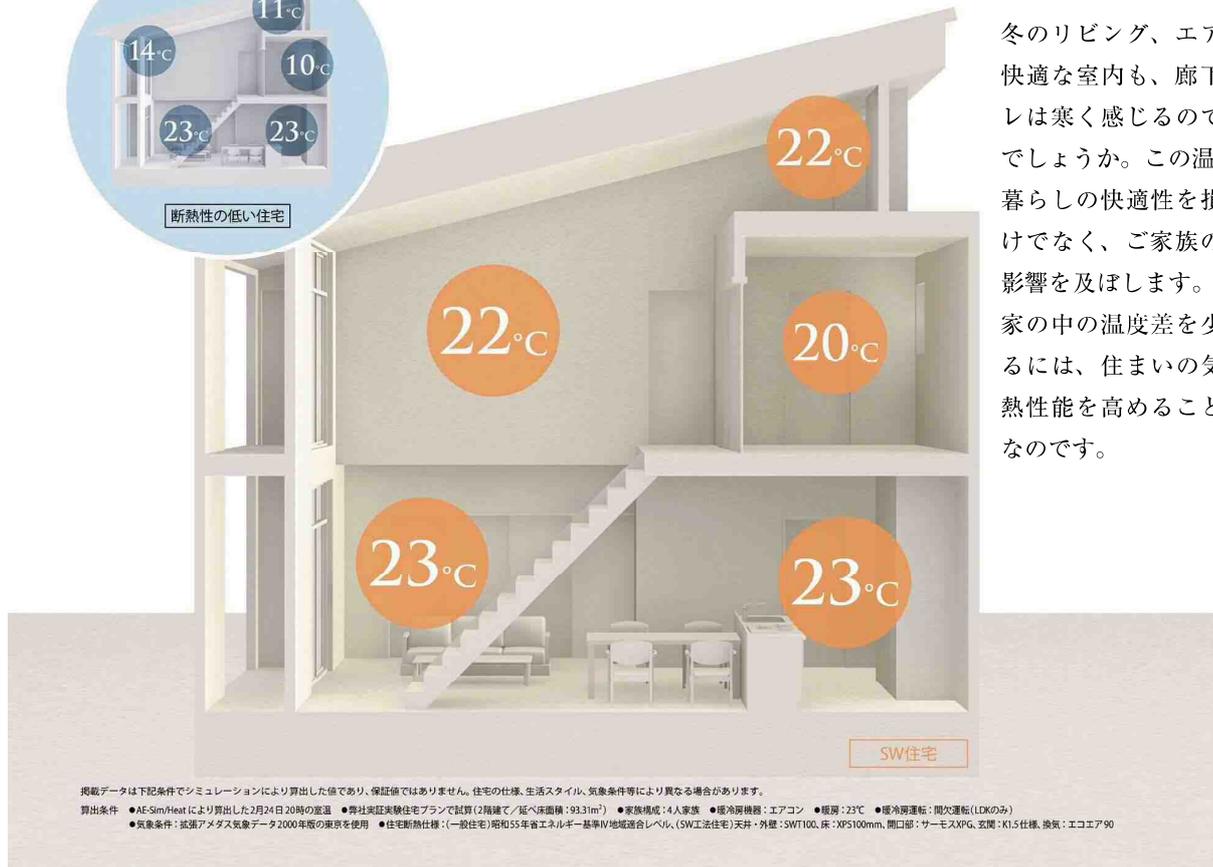
家づくり

Zh

健康で経済的な、いざという時にも
安心の高耐久な住まい。

「健康」「経済的」「安心」「高耐久」な暮らしを実現するために
LIXIL スーパーウォール工法を採用しています。

魔法瓶のような高い断熱性で
家の中の温度差が少ない暮らし。



冬のリビング、エアコンで快適な室内も、廊下やトイレは寒く感じるのではないのでしょうか。この温度差は、暮らしの快適性を損ねるだけでなく、ご家族の健康に影響を及ぼします。そんな、家の中の温度差を少なくするには、住まいの気密・断熱性能を高めることが大切なのです。

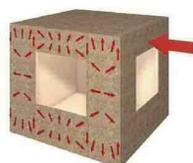
掲載データは下記条件でシミュレーションにより算出した値であり、保証値ではありません。住宅の仕様、生活スタイル、気象条件等により異なる場合があります。
算出条件 ● AE-Sim/Heat (c)より算出した2月24日20時の室温 ● 弊社実証実験住宅プランで試算(2階建て/延べ床面積:93.31㎡) ● 家族構成:4人家族 ● 暖房機器:エアコン ● 暖房:23℃ ● 暖房運転転:間欠運転(LDKのみ)
● 気象条件:気象庁メテオデータ2000年版の東京を使用 ● 住宅断熱仕様:(一般住宅)昭和55年省エネルギー基準IV地域適合レベル,(SW工法住宅)天井・外壁:SWT100,床:XPS100mm,開口部:サーモスXPG,玄関:K1.5仕様,換気:エコエア90

6面体の一体化構造である強靱なモノコック構造。

スーパーウォール工法は、壁・床・天井が一体化した箱形を構成するモノコック構造。航空機や自動車ボディの技術から発達した構造で、大きな外力にも変形しにくい特徴を持ちます。住宅においては、地震や台風などの外力が接合部などに集中しにくく、建物全体に分散するため、ひずみやくりに強さを発揮します。



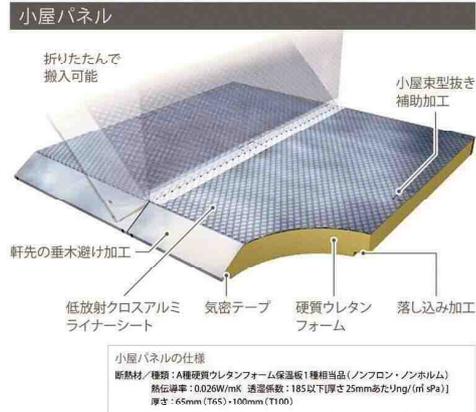
一般的な在来工法
(筋交い補強)



スーパーウォール工法
(モノコック構造)

断熱材

断熱材の中でもトップクラスの性能と安定感のある
硬質ウレタンフォームを採用



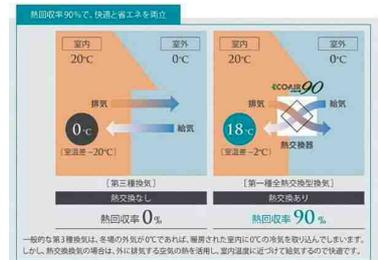
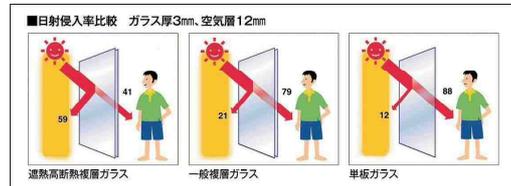
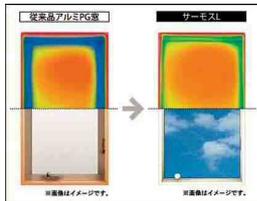
窓

断熱性能とコストパフォーマンスに優れたアルミ樹脂複合
高性能ハイブリッド窓を採用



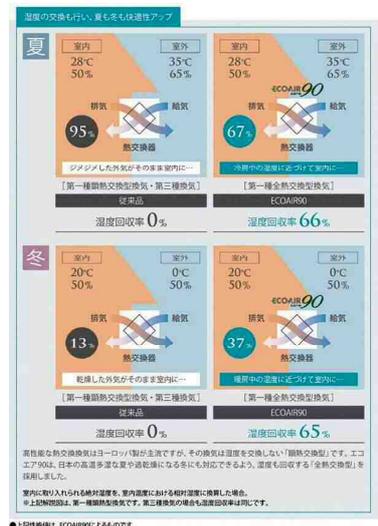
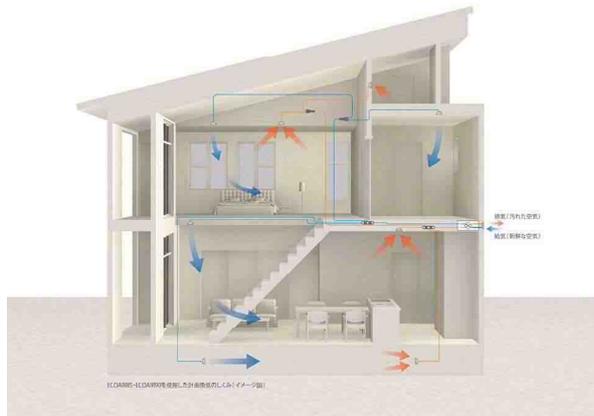
開口部の断熱性を高める高断熱サッシ & ガラス

住宅において熱の流入が最も多い開口部についてはすぐれた断熱効果で外気温の影響を受けにくく、カビ・ダニの原因ともなる結露の発生を抑える、高断熱サッシの採用を推奨しています。また、ガラスについては、住まいの地域やプランに合わせて、断熱性・機能性にすぐれたガラスの選定を推奨しています。



換気システム

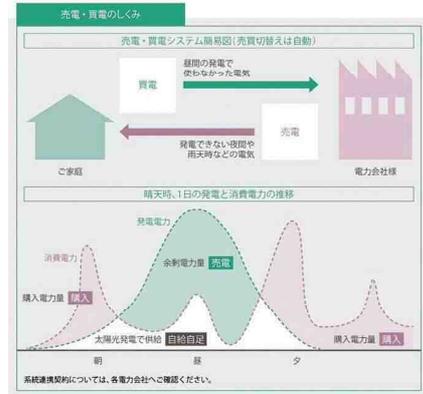
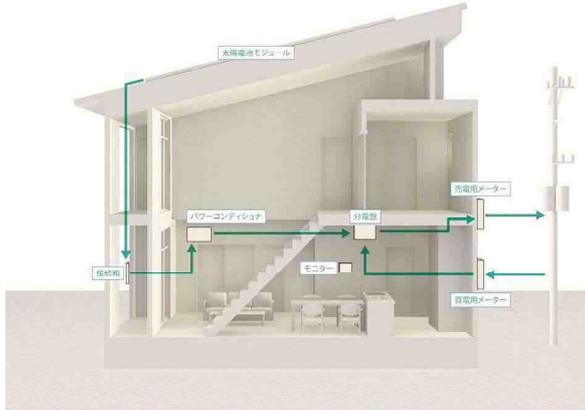
室内の温度・湿度を保ちながら効率的な換気が可能な全熱交換型換気システムを採用。



●上記の数値は、ECOAIR90によるものです。

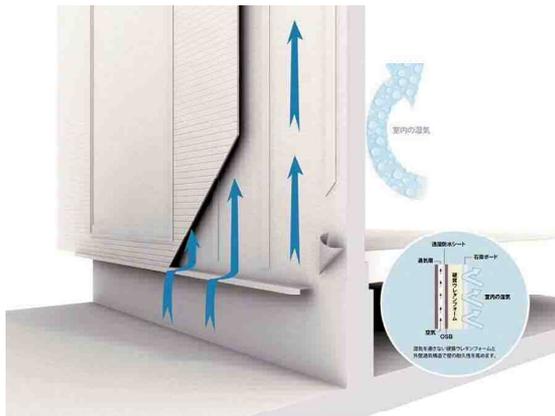
太陽光発電システム

数あるメーカーの中でも信頼と実績のあるメーカーを厳選して採用。さらに屋根に穴を開けずに設置する工法を標準採用。



断熱材 35年無結露保証

壁の中で躯体を痛めてしまう断熱材の結露。硬質ウレタンフォームと壁内通気工法の採用で、35年間断熱材の無結露保証を実現。



ウレタン断熱材 35年無結露保証付き

制震仕様パネルを採用

地震による建物への負荷を軽減し、繰り返しの揺れにも強い制震パネルを採用。



制震テープは、高層ビル用の制震装置に使用されているブチルゴム系素材を住宅用に加工した粘弾性体のテープです。制震テープは、東京技術経営研究所、東京大学、清水建設技術研究所により開発された、アディティブレーン(特)の製品です。

住宅の性能を表す数値

UA 値とは・・・建物の断熱性能を表す数値のこと

室内から室外にどのくらい熱が移動するかを示す指標を「熱貫流率」といい、それを、天井・壁・床・窓等の外皮の合計面積で割った値を「外皮平均熱貫流率 (UA 値)」といいます。数値が小さいほど断熱性能が高い住宅となります。

$$\text{UA 値 (外皮平均熱貫流率)} = \frac{\text{単位温度差当たりの総熱損失量}^{*1}}{\text{外皮表面積}}$$

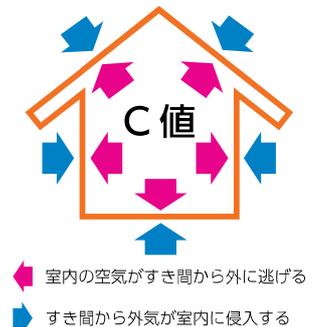
* 1 換気及び漏気によって失われる熱量は含まない。



C 値とは・・・建物の気密性能を表す数値のこと

家の気密性（隙間の量）を示す指標で、家全体にある隙間面積を延床面積で割った値を「相当隙間面積 (C 値)」といいます。数値が小さいほど気密性が高い住宅となります。

$$\text{C 値 (相当隙間面積)} = \frac{\text{家全体の隙間の合計 (cm}^2\text{)}}{\text{建物の延床面積 (m}^2\text{)}}$$



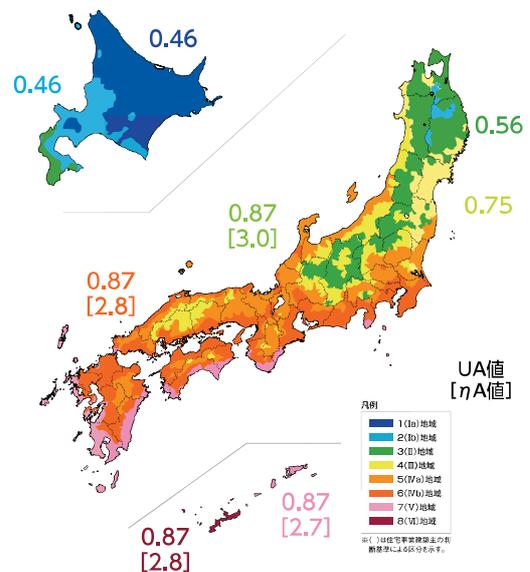
省エネ法による地域別基準値

UA 値は省エネ法により地域ごとに基準値が定められています。下表の省エネルギー基準とは 2020 年に義務化される数値で、ZEH 適合基準とは政府が 2030 年までに新築住宅の平均で実現を目指す数値です。神奈川県は一部寒冷地域を除き、地域区分「6」の地域です。

省エネルギー基準・ZEH 適合基準 外皮平均熱貫流率 UA 値 [W/(m²・K)]

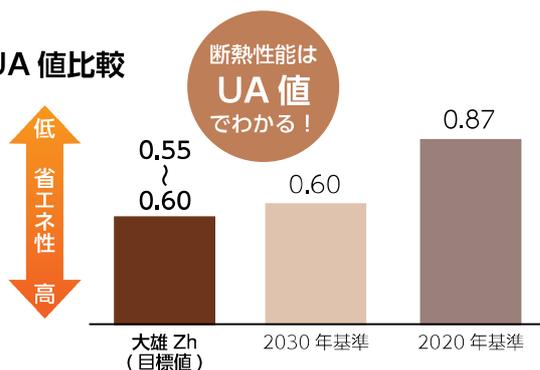
基準	地域区分						
	1	2	3	4	5	6	7
ZEH適合基準	0.4	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6
省エネルギー基準	0.46 (1.6)	0.46 (1.6)	0.56 (1.9)	0.75 (2.4)	0.87 (2.7)	0.87 (2.7)	0.87 (2.7)

↑
平塚市の基準値

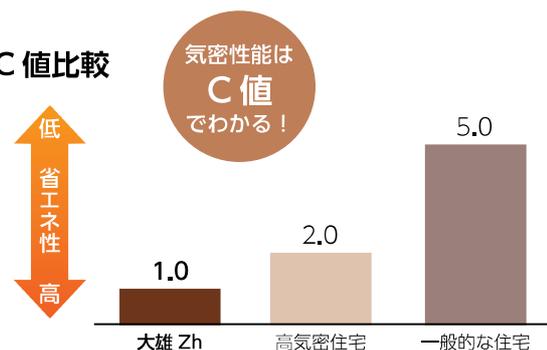


※ C 値について現法では数値基準が除外されていますが、法改正前の基準では同地域での基準値は「5.0」とされていました。一般に高气密といわれる基準値は「2.0」とされています。

UA 値比較

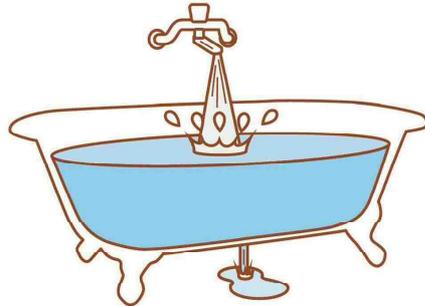
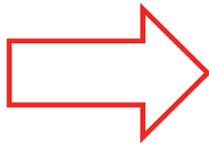


C 値比較



気密性能へのこだわり

高性能な断熱材や窓を使用してUA値を高めたとしても、家の隙間が多いと十分な効果を発揮できません。快適な家づくりのためには家の気密性を高めることが重要です。



また、UA値は使用する材料や家の面積などで計算によって求められますが、C値は実際の建物で専用の測定機を使い計測します。そのため、工事の施工品質が非常に重要となります。

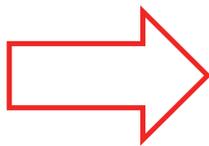
Zhは全棟で気密測定を実施、C値が1.0以下であることを確認し性能報告書を発行します。



高性能
断熱材



気密性能
へのこだわり



快適で省エネな暮らしを実現します。